

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役会長兼社長 原田 泳幸

全米最大の語学学校「ELS Language Centers」が 東北大学に日本初の英語教育プログラムを提供 ～今年度よりスーパーグローバル大学向け事業を開始～

株式会社ベネッセホールディングスの子会社、株式会社ベネッセコーポレーション(本社:岡山県岡山市、以下:ベネッセ)は、ELS Language Centers(以下:ELS)の指導メソッドやカリキュラムを用いた課外英語教育プログラムを、国立大学法人東北大学(以下:東北大学)に提供いたします。

ELSは、ベルリッツ コーポレーション(※1)の子会社ELS Educational Services, Inc.(本社:米国、ニュージャージー州、プリンストン)が展開する全米最大の語学学校です。設立から54年を迎え、これまでに世界140カ国、延べ100万人の留学生を受け入れてきました。ELSは現在、米国で50以上の大学の構内に設置され、米国での高等教育機関への進学準備プログラムとして高い評価を得ています。ELSのプログラムの特徴は、英語を母国語としない学生に、高等教育機関における学習・研究で必要とされる英語力だけでなく、スタディスキル(※2)を習得させることを目的としています。

一方で、東北大学は、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」(※3)に採択されました。その重要施策の一つとして、「グローバル人材育成推進事業」におけるこれまでの取り組みを発展させ、派遣留学の推進等を加速しています。このような中、学生の実践的な英語活用能力を育成し、海外留学や外国人(研究者・留学生)との学習・研究で必要となる「スタディスキル」を養成することを目的として、「Tohoku University English Academy」を設置し、その中核的な取り組みとして、ELSのプログラムが採択されることが決定しました。

近年の企業のグローバル人材育成や、大学の国際化へのニーズの高まりを受け、ベネッセは、これまでに培ってきたELSのノウハウや知見を、スーパーグローバル大学向けの支援事業として日本国内で展開します。今回のプログラム提供は、その国内初となる取り組みです。当プログラムは、通常授業期間中は、課外授業としてTOEFL対策講座、長期休暇中は英語での研究論文執筆対策などの集中講座を提供し、適宜カウンセリングや学習相談も行います。学年や専攻を問わず、幅広い英語学習のニーズに応える内容となっています。

ベネッセは今後、スーパーグローバル大学を中心とした、国内大学の国際化を支援し、グローバル人材の育成に寄与してまいります。

※1:ベルリッツ コーポレーションは、株式会社ベネッセホールディングスの子会社で、世界70以上の国と地域で語学事業を展開しています。

※2:スタディスキルとは、対話中心・プレゼンテーション等のアウトプット重視型授業や小グループ単位のプロジェクトを取り入れた授業に対応できる能力(学習技術)を意味します。

※3:スーパーグローバル大学創成支援とは、文部科学省が大学の国際競争力の強化のために重点的に財政支援をする制度で、現在、37の大学が選定されています。

【東北大学における講座概要】

■対象者および定員

海外留学等の目的でアカデミック英語やスタディスキルの向上に意欲的な学生（学部・大学院舎）を対象とし、定員は、年間 300 名程度。

■実施場所

東北大学 川内北キャンパス内（仙台市青葉区川内 41）

■課外英語教育プログラムの内容

（1）通常プログラム

通常プログラムは、1 期（6～7 月の 4 週間）、2 期（10～1 月の 12 週間）に分け、「読む」「聞く」「書く」「話す」の 4 技能の英語運用能力の対策講座を実施します。1 期に実施する講座は、受講生が講座の主旨や特徴を効率的に把握するための体験的位置づけとし、2 期に実施する講座は 4 技能に加えスタディスキルの指導を豊富に取り入れ、受講者の実践的な英語運用能力向上を図ります。

（2）長期休暇プログラム（インテンシブ・プログラム）

a) インテンシブ・アカデミック英語プログラム

ELS 指導メソッドを用いた、1 日 6 時間程度の集中英語講座。

b) インテンシブ・研究論文プログラム

おもに大学院生を対象とした、英語での論文対策講座。

c) 定員

各プログラム 1 クラスあたり 15 名。

■学習相談・カウンセリングの実施

以 上